

片瀬のぞみだより

片瀬のぞみ幼稚園

2023年6月号

家庭通信 2023 No.8

6月主題 「見つける」

6月主題聖句 「主はわたしを造られた。」

詩編 100 篇 3 節

旧約聖書の詩編 100 篇 3 節の全体は以下の通りです。「知れ、主こそ神であると。主はわたしを造られた。わたしたちは主のもの、その民、主に養われる羊の群れ。」

わたしを創造してくださった主こそ神様であることを深く認識しなさい。いやそれだけでなくわたしそのものは主に所属し帰属するもの、主の民、主によって養われ育てられている羊の群れなのだということを深く認識しなさい。わたしが神様を創造したのではなく神様がわたしを創造してくださったのです。わたしは創造主 Creator ではなく被造物 creature です、と語ります。

詩編 46 篇 11 節の「力を捨てよ、知れ、わたしは神。国々にあがめられ、この地であがめられる。」この上なく崇拜される神様を知るためには人間的力、知識、権力、武力をまず捨てなさいと勧めています。同じく詩編 8 篇 6 節で「神に僅かに劣るものとして人を造り…」以前の口語訳聖書では「ただ少しく人を神より低く造って…」とあります。主はわたしを主なる神様と同等・同質に造られたのではなく僅かに劣るもの、神様より低いものとして造られたのです。

今世紀に入ってまさか戦争・紛争が起こるとは夢にも思わなかったことが現実に起こり、人が傷つき殺されています。聖書で殺人禁止命令の根拠として創世記 9 章 6 節が挙げられています。「人の血を流す者は人によって自分の血を流される。人は神にかたどって造られたからだ。」人間は神様にかたどり、似せて、僅かに劣るものとして造られたのだから、その人の命を奪ってはならない、損ねてはならないというのです。このことを全世界の人々が力を捨てて知らなければなりません。主に造られていることは警告であると同時に祝福の言葉です。主に愛されているものとしてわたしは造られ、その主にしっかりと結ばれているからこそ「全地よ、主に向かって喜びの叫びを上げよ。」(詩編 100 篇 1 節)と勧めているのです。

幼稚園の生活のなかであなた・わたしが神様によって造られている大事な存在であることを知る機会となる事を願っています。

西田直樹